



**VMware**

ハイブリッドクラウドのユースケース  
NetApp Solutions

NetApp  
March 12, 2024

# 目次

VMware ハイブリッドクラウドのユースケース .....	1
VMwareを使用したネットアップハイブリッドマルチクラウドのユースケース .....	1
Amazon VMware マネージドクラウド（VMC）向けネットアップソリューション .....	2
Azure VMware 解決策（AVS）向けネットアップソリューション .....	3
Google Cloud VMware Engine（GCVE）向けNetAppソリューション .....	3

# VMware ハイブリッドクラウドのユースケース

## VMwareを使用したネットアップハイブリッドマルチクラウドのユースケース

ハイブリッドクラウドまたはクラウドファーストの導入を計画する際に IT 組織にとって重要なユースケースの概要。

### 一般的なユースケース

ユースケースには次のものがあり

- ・ディザスタリカバリ、 SVM
- ・データセンターのメンテナンス時にワークロードをホストする。 \* ローカルのデータセンターでプロジェクトが実行されたリソース以外に追加のリソースが必要になる、迅速なバースト。
- ・VMware サイトの拡張
- ・クラウドへの迅速な移行
- ・開発 / テスト、および
- ・クラウドの補助的なテクノロジーを活用したアプリケーションの最新化。

このドキュメントでは、 VMware のユースケースを使用してクラウドワークロードの参考資料について詳しく説明します。ユースケースは次のとおりです。

- ・保護（ディザスタリカバリとバックアップ/リストアの両方を含む）
- ・移動
- ・拡張

### IT の旅の中で

ほとんどの組織は、変革と最新化への移行を進めています。このプロセスの一環として、企業は既存の VMware への投資を活用しながら、クラウドのメリットを活用し、移行プロセスをできるだけシームレスに実行する方法を模索しています。このアプローチでは、データがすでにクラウドにあるため、最新化への取り組みが非常に簡単になります。

このシナリオに最も簡単に使用できる回答は、各ハイパースケーラにおける VMware ソリューションです。ネットアップの Cloud Volume と同様に、 VMware はオンプレミスの VMware 環境を任意のクラウドに移行または拡張できるため、既存のオンプレミスの資産、スキル、ツールを保持しながら、ワークロードをクラウド内でネイティブに実行できます。これにより、サービスの中断や IP 変更の必要性がなくなり、 IT チームは既存のスキルやツールを使用してオンプレミスで行う方法を運用できるようになるため、リスクが軽減されます。これにより、クラウドへの移行が高速化され、ハイブリッドマルチクラウドアーキテクチャへの移行が大幅にスムーズになります。

### NFS追加ストレージオプションの重要性を理解する

あらゆるクラウドで VMware が提供する独自のハイブリッド機能に加えて、 NFS ストレージオプションの追加によってストレージ負荷の高い組織での有用性が制限されています。ストレージはホストに直接関連付けられ

ているため、ストレージを拡張する唯一の方法は、ホストを追加することです。これにより、ストレージを大量に消費するワークロードの場合、35～40%以上のコストがかかる可能性があります。このようなワークロードに必要なストレージ容量は増えても容量は増えません。つまり、追加のホストに料金を支払うことになります。

次のシナリオを考えてみましょう。

CPUとメモリ用にわずか5台のホストが必要ですが、ストレージには多くのニーズがあり、ストレージ要件を満たすために12台のホストが必要です。この要件は、ストレージを増設するだけで追加の処理能力を購入する必要があるため、財務面での拡張性に大きな転換を実現できます。

クラウドの導入と移行を計画する場合は、最適なアプローチを評価し、投資の総削減に最も簡単な方法をとることが常に重要です。あらゆるアプリケーション移行で最も一般的かつ簡単なアプローチは、仮想マシン(VM)やデータ変換がない場所でリホスト(リフトアンドシフト)を行うことです。NetApp Cloud VolumeとVMwareのSoftware-Defined Data Center(SDDC)を併用し、vSANを補完することで、移行と切り替えが容易になります。

## Amazon VMware マネージドクラウド(VMC)向けネットアップソリューション

ネットアップがAWSに提供するソリューションの詳細をご確認ください。

VMwareは、クラウドワークロードを次の3つのカテゴリのいずれかに分類します。

- ・保護（ディザスタリカバリとバックアップ/リストアの両方を含む）
- ・移動
- ・拡張

次のセクションで使用可能なソリューションを参照してください。

### 保護

- ・ "AWS上のVMCを使用したディザスタリカバリ(ゲスト接続)"
- ・ "FSx for ONTAPを使用したVMCでのVeeamバックアップとリストア"
- ・ "FSXを使用したONTAPおよびVMC向けディザスタリカバリ(DRO)"
- ・ "Veeam ReplicationとFSx for ONTAPを使用したVMware Cloud on AWSへのディザスタリカバリ"

### 移動

- ・ "VMware HCXを使用して、ワークロードをFSxNデータストアに移行します"

### 拡張

近日公開！

# Azure VMware 解決策（AVS）向けネットアップソリューション

ネットアップがAzureにもたらすソリューションの詳細をご確認ください。

VMwareは、クラウドワークLOADを次の3つのカテゴリのいずれかに分類します。

- ・保護（ディザスタリカバリとバックアップ/リストアの両方を含む）
- ・移動
- ・拡張

次のセクションで使用可能なソリューションを参照してください。

## 保護

- ・ "ANFおよびJetStreamを使用したディザスタリカバリ（補足的なNFSデータストア）"
- ・ "ANFおよびCVOを使用したディザスタリカバリ（ゲスト接続ストレージ）"
- ・ "ANFとAVSを使用したディザスタリカバリ（DRO）"
- ・ "Veeam ReplicationとAzure NetApp Filesデータストアを使用したAzure VMware解決策へのディザスタリカバリ"

## 移動

- ・ "VMware HCXを使用して、ワークロードをAzure NetApp Files データストアに移行します"

## 拡張

近日公開！

# Google Cloud VMware Engine（GCVE）向けNetAppソリューション

ネットアップがGCPに提供するソリューションの詳細をご確認ください。

VMwareは、クラウドワークLOADを次の3つのカテゴリのいずれかに分類します。

- ・保護（ディザスタリカバリとバックアップ/リストアの両方を含む）
- ・移動
- ・拡張

次のセクションで使用可能なソリューションを参照してください。

## 保護

- "SnapCenter、Cloud Volumes ONTAP、Veeamレプリケーションを使用したアプリケーションディザスタリカバリ"
- "NetApp SnapCenterとVeeamによるGCVE上のNetApp CVSへのレプリケーションを使用した、アプリケーションと整合性のあるディザスタリカバリ"

## 移動

- "VMware HCXを使用したNetApp Cloud Volume Service NFSデータストアへのワークロードの移行"
- "Veeamを使用したNetAppクラウドボリュームサービスNFSデータストアへのVMレプリケーション"

## 拡張

近日公開！

## 著作権に関する情報

Copyright © 2024 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を隨時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5225.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用権を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用権については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

## 商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。